

令和6年1月19日

支出負担行為担当官

原子力規制委員会原子力規制庁長官官房参事官 小林 雅彦

令和6年1月15日付で公告した「令和5年度陰イオンクロマトグラフ分析システムの購入」の一般競争入札について、以下のとおり変更します。

(1) 仕様書の変更

変更前	変更後
<p>(中略)</p> <p>5.1 詳細仕様</p> <p>(1) 陰イオンクロマトグラフ</p> <p>① 電気透析サプレッサ式陰イオンクロマト測定方式であること。</p> <p>② 送液部</p> <p>(a) 送液ポンプは 0.0001 mL/min - 10.0000 mL/min の範囲で設定可能であること。</p> <p>(b) プランジャー自動洗浄機能を有すること。</p> <p>(c) 最大耐圧 44 MPa 以上であること。</p> <p>(d) 送液方式は並列ダブルプランジャーであること。</p> <p>③ オートサンプラー</p> <p>(a) 注入量は標準で 0.1 - 100 μL の範囲で設定可能なこと。</p> <p>(b) 容量 4 mL のバイアルを 50 本以上搭載でき、自動で連続分析が可能なこと。</p> <p>(c) 注入量正確さは\pm1%以下であること。</p> <p>(d) 注入方式は全量注入方式であること。</p> <p>④ カラムオープン</p> <p>(a) カラム温度調整機能を有し、(室温-10$^{\circ}$C) ~85$^{\circ}$Cの範囲で任意に設定できること。</p> <p>(b) 温度正確さは\pm0.8$^{\circ}$C以下であること。</p> <p>(c) 30 cm カラムを使用可能なこと。</p> <p>⑤ 電気伝導度検出器</p> <p>(a) セル容量は 0.25 μL 以下で、オートゼロ機能、ベースラインシフト機能を有すること。</p> <p>(b) セルをカラムオープン内に内蔵することで二重温調を実現していること。</p> <p>⑥ UV 検出器</p> <p>(a) 光源は W ランプであること。</p>	<p>(中略)</p> <p>5.1 詳細仕様</p> <p>(2) 陰イオンクロマトグラフ</p> <p>① 電気透析サプレッサ式陰イオンクロマト測定方式であること。</p> <p>② 送液部</p> <p>(e) 送液ポンプは 0.0001 mL/min - 10.0000 mL/min の範囲で設定可能であること。</p> <p>(f) プランジャー自動洗浄機能を有すること。</p> <p>(g) 最大耐圧 44 MPa 以上であること。</p> <p>(h) 送液方式は並列ダブルプランジャーであること。</p> <p>③ オートサンプラー</p> <p>(a) 注入量は標準で 0.1 - 100 μL の範囲で設定可能なこと。</p> <p>(b) 容量 4 mL のバイアルを 50 本以上搭載でき、自動で連続分析が可能なこと。</p> <p>(c) 注入量正確さは\pm1%以下であること。</p> <p>(d) 注入方式は全量注入方式であること。</p> <p>④ カラムオープン</p> <p>(a) カラム温度調整機能を有し、(室温-10$^{\circ}$C) ~85$^{\circ}$Cの範囲で任意に設定できること。</p> <p>(b) 温度正確さは\pm0.8$^{\circ}$C以下であること。</p> <p>(c) 30 cm カラムを使用可能なこと。</p> <p>⑤ 電気伝導度検出器</p> <p>(a) セル容量は 0.25 μL 以下で、オートゼロ機能、ベースラインシフト機能を有すること。</p> <p>(b) セルをカラムオープン内に内蔵することで二重温調を実現していること。</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p>

(b) て設定でき、波長正確さは±1 nm 以内である測定波長は 210 nm に
こと。

(c) 安定した検出の為にセル温調機構を付属していること。

(d) セル内接液部はメタルフリーであること。

⑦ UV 検出器

(a) 光源は W ランプであること。

⑧ PDA 検出器

(a) 光源は D2 ランプと W ランプであること。

(b) フォトダイオードアレイ素子数は 1024 以上であること。

(c) 測定波長は 210 nm にて設定でき、波長正確さは±1 nm 以内である
こと。

(d) 安定した検出の為にセル、光源ランプ、分光器の 3 つを温調してい
ること。

(e) 直線性は 2.5 AU 以下であること。

(f) セル内接液部はメタルフリーであること。

⑨ サプレッサ

(a) 電気透析式のサプレッサを採用し、検出器廃液を再利用した連続再
生が可能であること。

⑩ フラクションコレクター

(a) フラクションコレクターの駆動方式はアーム移動(X-Y)方式である
こと。

(b) フラクションコレクターにセット可能なポート数は 16 - 144 であ
ること。

(c) フラクションコレクターの最大流量はヘキサン使用の場合、150
mL/min 以上であること。

⑪ カラム

(a) 陰イオンの分析に必要な分析カラム/ガードカラムを各 1 本以上付
属すること。

(中略)

⑥ PDA 検出器

(a) 光源は D2 ランプと W ランプであること。

(b) フォトダイオードアレイ素子数は 1024 以上であること。

(c) 測定波長は 210 nm にて設定でき、波長正確さは±1 nm 以内である
こと。

(d) 安定した検出の為にセル、光源ランプ、分光器の 3 つを温調してい
ること。

(e) 直線性は 2.5 AU 以下であること。

(f) セル内接液部はメタルフリーであること。

⑦ サプレッサ

(a) 電気透析式のサプレッサを採用し、検出器廃液を再利用した連続再
生が可能であること。

⑧ フラクションコレクター

(a) フラクションコレクターの駆動方式はアーム移動(X-Y)方式である
こと。

(b) フラクションコレクターにセット可能なポート数は 16 - 144 であ
ること。

(c) フラクションコレクターの最大流量はヘキサン使用の場合、150
mL/min 以上であること。

⑨ カラム

(a) 陰イオンの分析に必要な分析カラム/ガードカラムを各 1 本以上付
属すること。

(中略)